

令和6年9月20日

計画の名称		1 唐津市における公共用水域の水質保全の実現																			
計画の期間		平成30年度 ～ R4年度（5年間）						交付対象		唐津市											
計画の目標																					
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																					
計画の成果目標（定量的指標）																					
①下水道処理人口普及率を 71.5%（H29末）から74.5%（R4末）に増加させる。																					
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考								
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）		当初現況値 （H30当初）		中間目標値 （R2末）		最終目標値 （R4末）		（定量的指標の採用年度） 当初 中間 最終													
		71.5%		74.0%		74.9%		H29末 R2末 R4末													
全体事業費		合計 （A+B+C）		1,511百万円		A		1,511百万円		B		0百万円		C		0百万円		効果促進事業費の割合 C / （A+B+C）		0.0%	
事後評価（中間評価）																					
○事後評価の実施体制、実施時期																					
事後評価の実施体制										事後評価（中間評価）の実施時期											
唐津市										令和6年9月											
										公表の方法											
										唐津市ホームページ											
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A 基幹事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比				
											H30	H31	R2	R3	R4						
No.1 唐津処理区																					
A07-001	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	見借汚水準幹線整備（未普及対策）	A=2ha	唐津市						45	—				
A07-002	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	原・宇木汚水準幹線整備（未普及対策）	A=4.1ha	唐津市						120	—				
A07-003	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	半田汚水準幹線整備（未普及対策）	A=4.0ha	唐津市						143	—				
A07-004	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	横田汚水準幹線整備（未普及対策）	A=5.58ha	唐津市						96	—				
A07-005	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	大江汚水準幹線整備（未普及対策）	A=1.28ha	唐津市						21	—				
A07-006	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	呼子汚水準幹線整備（未普及対策）	A=7.23ha	唐津市						94	—				
A07-007	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	相知汚水幹線整備（未普及対策）	L=3,200m	唐津市						238	—				
A07-008	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	厳木分区汚水準幹線整備（未普及対策）	A=59.2ha	唐津市						739	—				
A07-009	下水道	一般	唐津市	直接	唐津市	汚水	新設	名護屋汚水準幹線整備（未普及対策）	A=2.25ha	唐津市						15	—				
																0	—				
																0	—				
合 計															1,511						
B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比					
										H30	H31	R2	R3	R4							
合 計															0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果																				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

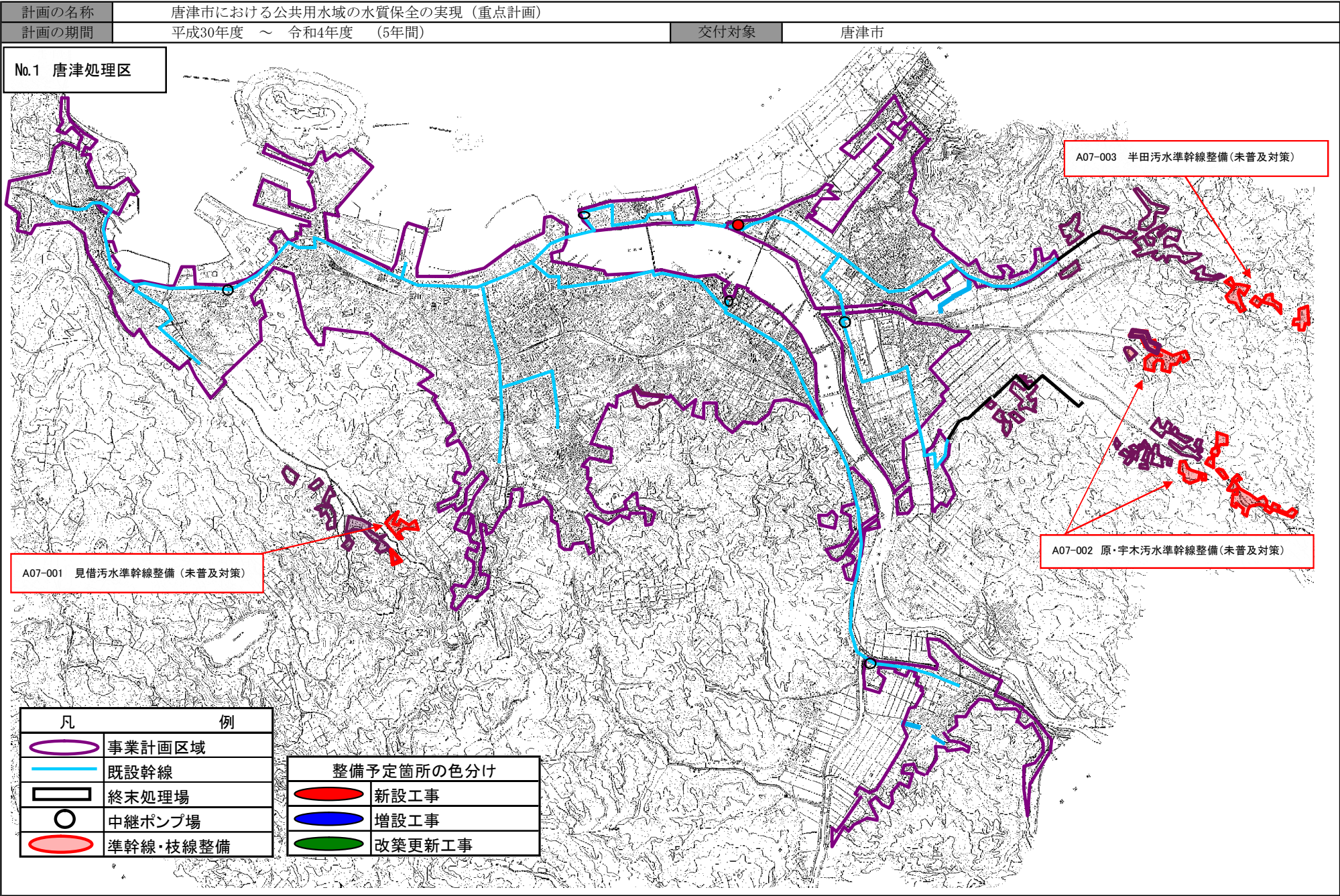
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 下水道処理人口普及率が平成29年度当初の 71.3%から令和4年度末で74.9%となり、約4,200人が下水道を使用できることとなった。 相知処理区厳木分区以外の整備は、今回の計画でほぼ予定通り完了することが出来た。 定量的指標については、最終目標値をわずかが上回ることが出来た。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	74.5%	目標値と実績値 に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	74.9%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

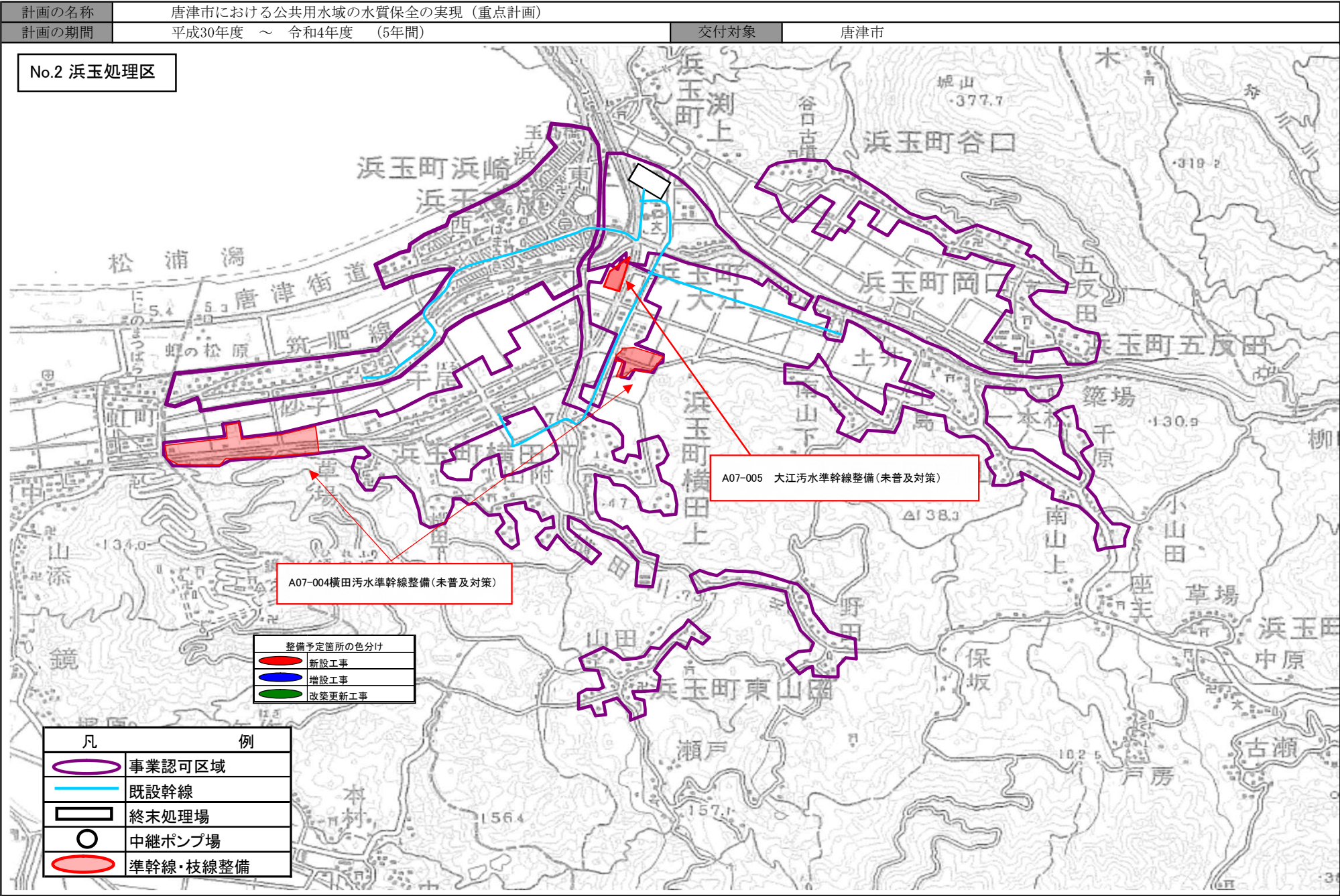
3. 特記事項（今後の方針等）

平成30年度から令和4年度までの5年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、定量的指標を達成することが出来た。今後も本市の未普及対策を重点事業として取組み、アクションプランを活用しながら早期の整備完了を目指していきます。

(参考図面)



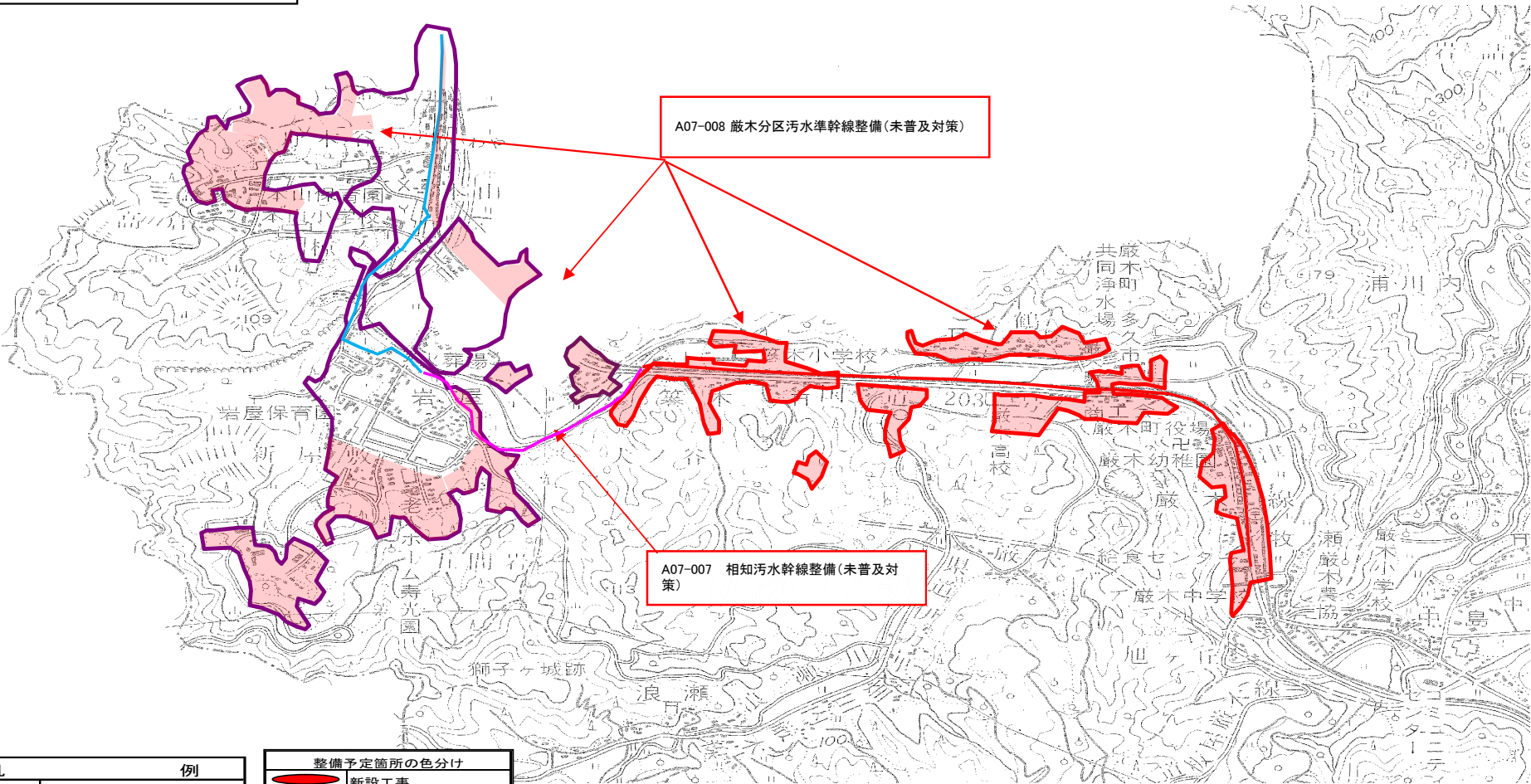
(参考図面)



(参考図面)

計画の名称	唐津市における公共用水域の水質保全の実現（重点計画）		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）	交付対象	唐津市

No.4－2 相知処理区 厳木処理分区



凡	例
	事業計画区域
	既設幹線
	終末処理場
	中継ポンプ場
	準幹線・枝線整備
	今回事業費追加幹線

整備予定箇所の色分け	
	新設工事
	増設工事
	改築更新工事

(参考図面)

